

高蔵寺ニュータウンに関するアンケート調査結果（抜粋版）

資料 2

アンケート概要

調査目的 高蔵寺ニュータウンに対する満足度等について調査を実施し、新たな計画の策定に向けた基礎資料とするため

調査方法 郵送による配布・回収、及びWEBによる春日井市HP上での調査

調査期間 郵送：令和2年8月5日（水）～8月24日（月）
WEB：令和2年8月5日（水）～9月6日（日）

調査対象 郵送：18歳以上の高蔵寺ニュータウン居住者1,000人

調査エリア 高蔵寺リ・ニュータウン計画における計画区域

回答数 881件（郵送：501件、WEB：373件）

分析の視点

- ① 支援（プロジェクト、施策）の必要性確認
- ② 移住・定住促進の基礎資料としての活用
- ③ 前回（H19）調査からの変化の確認

① 支援（プロジェクト、施策）の必要性確認

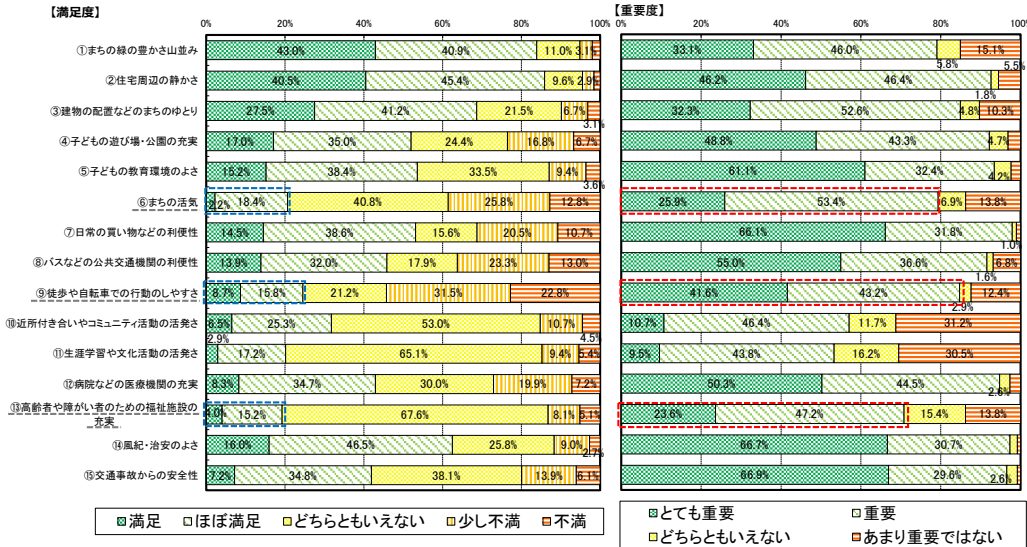
【考察①】

- ・「まちの活気」、「徒歩や自転車での行動のしやすさ」、「高齢者や障がい者のための福祉施設の充実」はどの世代にも共通した支援の必要性が高い項目となっており、リ・ニュータウン計画におけるプロジェクト、施策の取組と一致している。
- ・住み続けるために充実すべき点として若い世代（49歳以下）からは「子育てしやすい環境の充実」が求められており、子育て世代の定住促進として子育て支援の重要性が現れている。

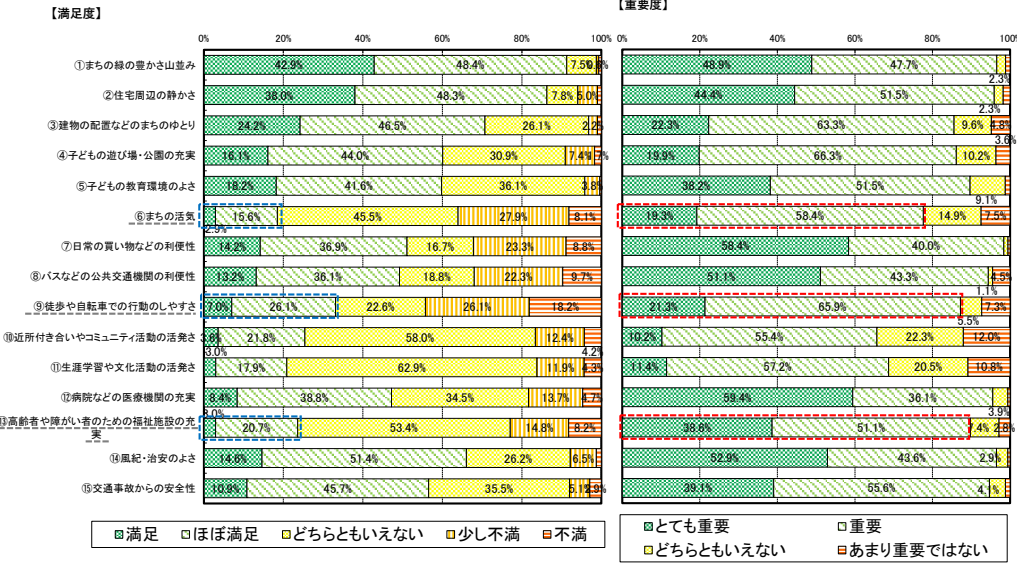
問2-3 高蔵寺ニュータウンの住環境についての満足度と重要度 ①

・満足度と重要度を確認した15項目について**49歳以下**、**60歳以上**とした場合も、支援の必要性が高い項目（「満足」、「ほぼ満足」と回答した人の割合と「とても重要」、「重要」と回答した人の割合の差が大きい項目）として「**⑥まちの活気**」、「**⑨徒歩や自転車での行動のしやすさ**」、「**⑬高齢者や障がい者のための福祉施設の充実**」の3点が共通している。

1.49歳以下



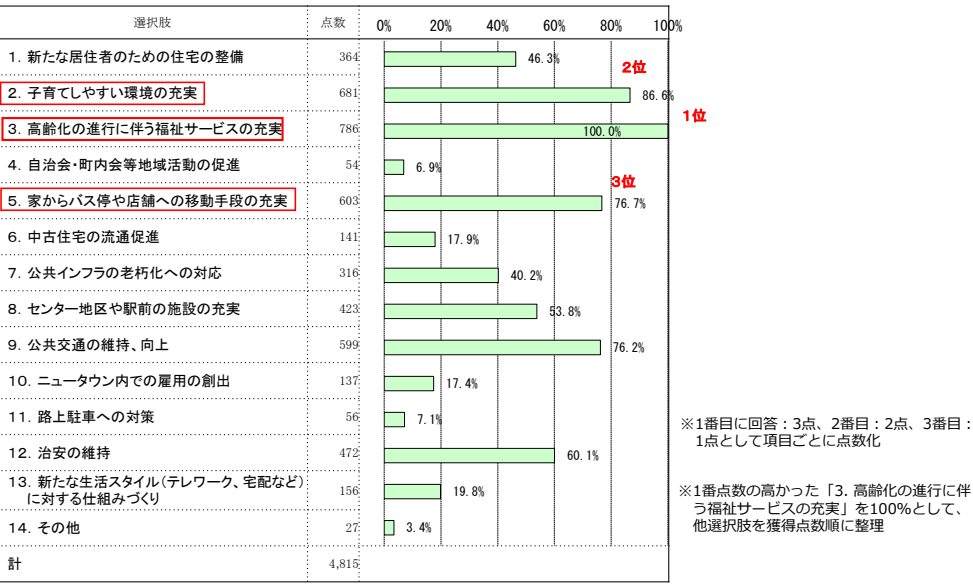
2.60歳以上



問6-2 10年後も高蔵寺ニュータウンに住み続けたいと思うために、充実すべきだと思う項目

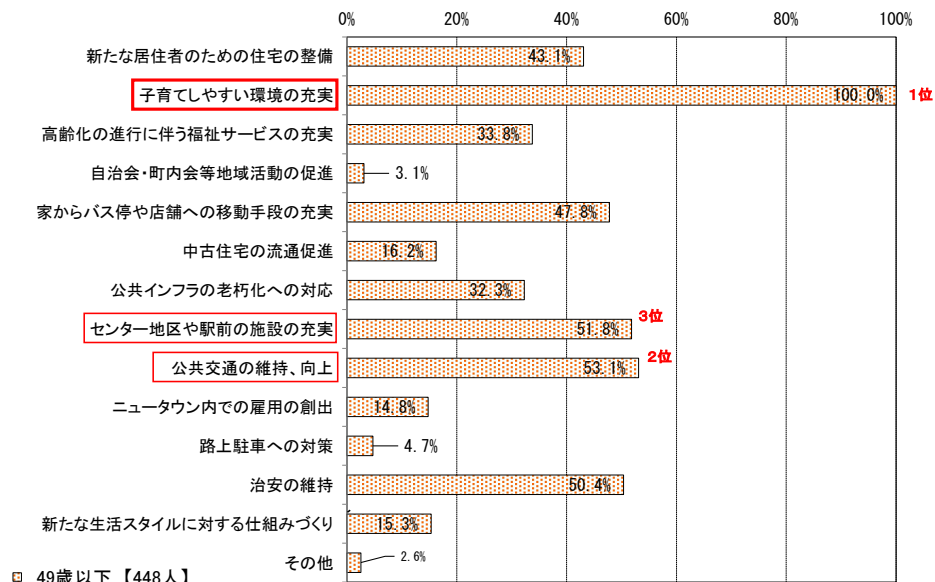
- ・「家からバス停や店舗への移動手段の充実」、は**1.全体**、**2.49歳以下**、**3.60歳以上**のいずれにも共通して充実すべき項目として高い点数となっている。
- ・**2.40歳以下**は「**子育てしやすい環境の充実**」を、**3.60歳以上**は「**高齢化の進行に伴う福祉サービスの充実**」を充実すべき項目として1番高い点数となっている。
- ・**3.60歳以上**では、「家からバス停や店舗への移動手段の充実」が2番目に、「公共交通の維持、向上」が3番目に高い点数となっている。

1.全体



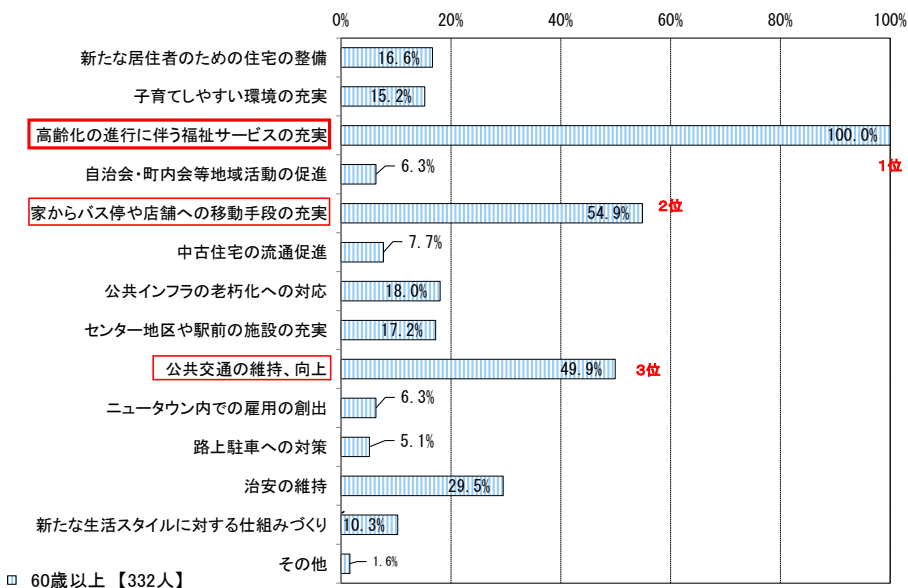
高蔵寺ニュータウンに関するアンケート調査結果（抜粋版）

2. 49歳以下



※1番点数の高かった「子育てしやすい環境の充実」を100%として、他選択肢を獲得点数順に整理

3. 60歳以上



※1番点数の高かった「高齢化の進行に伴う福祉サービスの充実」を100%として、他選択肢を獲得点数順に整理

② 移住・定住促進のための基礎資料

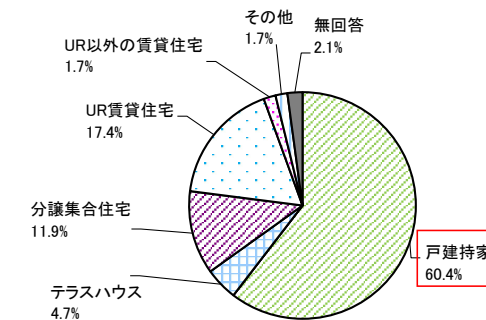
【考察②】

- ・高齢世帯では戸建持家の割合が高く、**将来的に空き家となる物件がある**といえる。また、住宅の広さについて、約半数が余っていると回答しており、**住み替えの可能性がうかがえる**。
- ・若い世代（39歳以下）では転出先の住宅として「**新築戸建**」、「**賃貸住宅**」を希望する割合が高く、若い世代に向けた新築戸建の需要がうかがえる。

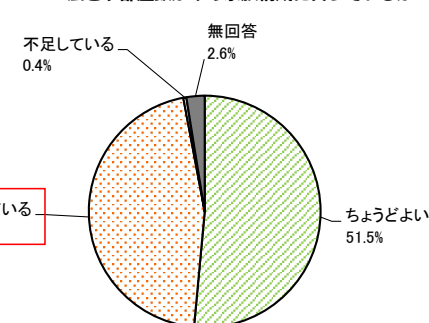
ア. 属性について

- ・高齢世帯は「**戸建持家**」が最も多い。
- ・高齢世帯の**約半数(45.5%)**は住宅の広さや部屋数が「**余っている**」と回答している。

問1-5 高齢世帯（60歳以上かつ単身・夫婦のみの世帯）の住宅の種類



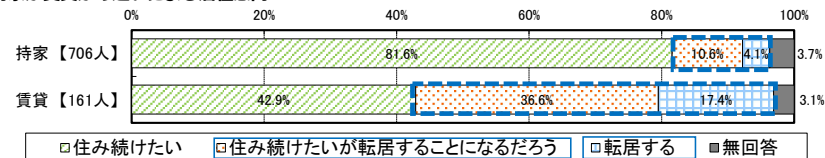
問1-6 高齢世帯（同左）の住宅の広さや部屋数が今の家族構成に合っているか



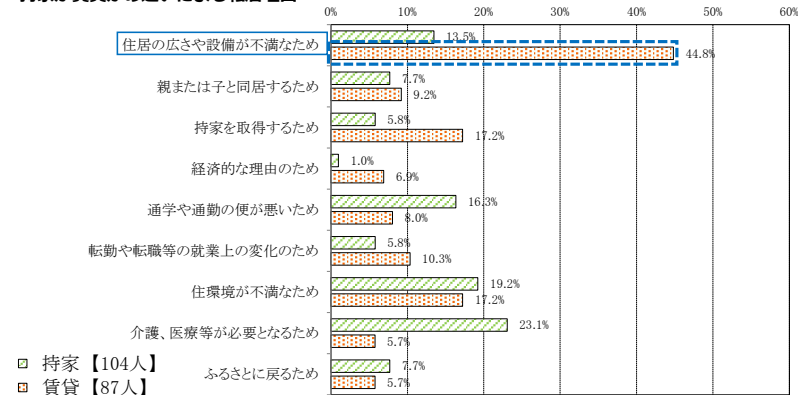
イ. 居住意向について

- ・賃貸に住む人の54.0%が「**転居することになるだろう/転居する**」と回答している。一方、持家に住む人は14.7%である。
- ・賃貸に住む人の転居理由として最も多いのは「**住居の広さや設備が不満なため**」、一方、持家に住む人の転居理由は「**介護、医療等が必要となるため**」、「**住環境が不偏なため**」、「**通学や通勤の便が悪いため**」が比較的多くなっている。

問3 持家が賃貸かの違いによる居住意向



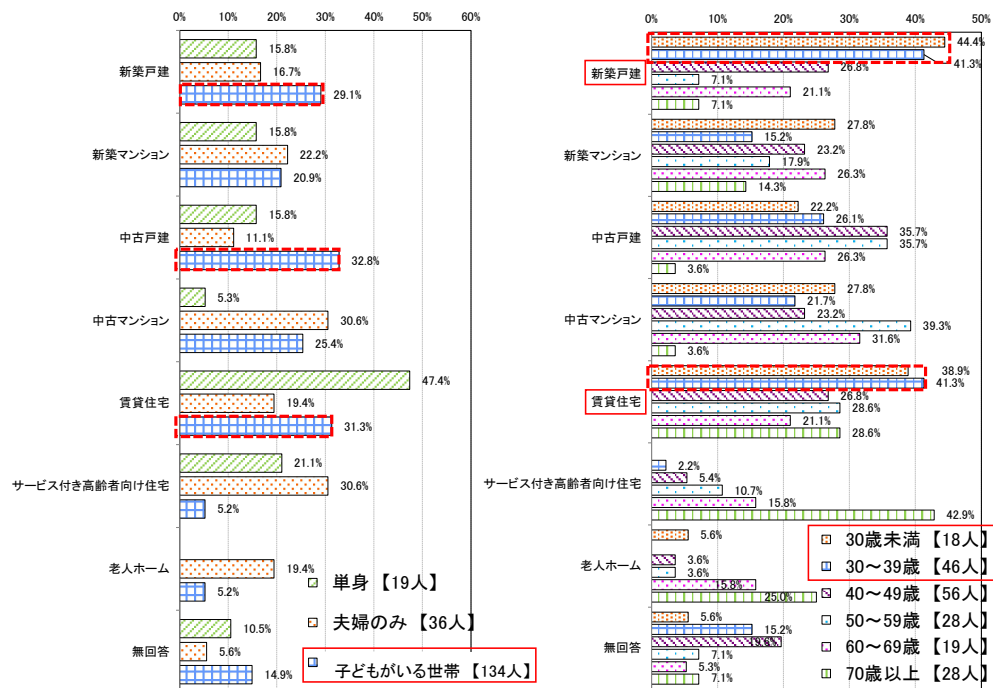
問3(3) 持家が賃貸かの違いによる転居理由



高蔵寺ニュータウンに関するアンケート調査結果（抜粋版）

問3(4) 年代・家族構成別には転出先にどんな住まいを求めているか

- ・子どもがいる世帯は転出先に希望する住宅種類に大きな差はなく、「新築戸建」、「中古戸建」、「賃貸住宅」が同程度の割合となっている。
- ・39歳以下は、転出先に「新築戸建」、「賃貸住宅」を希望している。

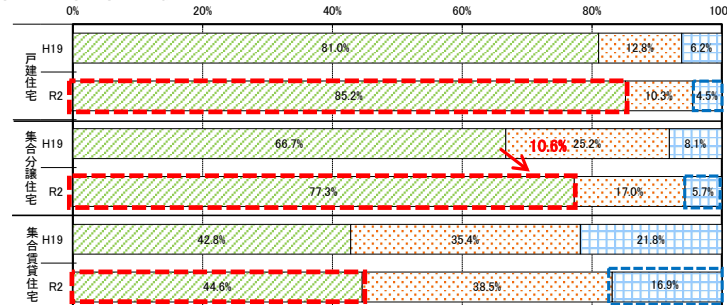


③前回（H19）調査からの変化の確認

【考察③】

- ・H19調査と比較すると、**住み続けたいと回答する人の割合は増えている**が、住環境の満足度では、**15項目のうち9項目で満足と回答する人の割合が減少している**。リ・ニュータウン計画におけるプロジェクト、施策を着実に進めることで、市民の認識の変化につなげていく必要がある。
- ・地域活動について、参加、協力する人の割合が減少しており、地域活動への参加に対する動機づけが必要ながわかる。

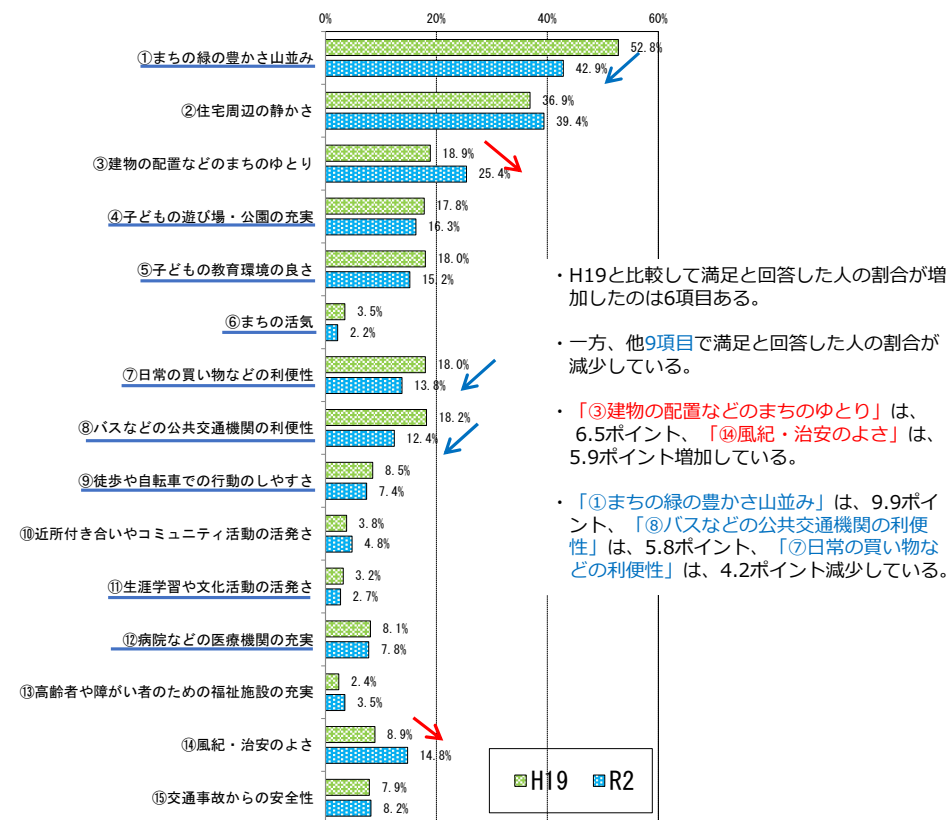
問3 居住意向の比較



- ・H19と比較してどの住宅種類でも「このまま住み続けたい」と回答する人が増えた。
- ・特に集合分譲住宅の「このまま住み続けたい」人は10.6%増えている。
- ・どの住宅種類でも「転居する」の割合は減少している。

□ このまま住み続けたい □ 住み続けたいが、転居することになるだろう □ 転居する

問2-3 高蔵寺ニュータウンの住環境についての満足度比較



- ・H19と比較して満足と回答した人の割合が増加したのは6項目ある。
- ・一方、他9項目で満足と回答した人の割合が減少している。
- ・「③建物の配置などのまちのゆとり」は、6.5ポイント、「⑭風紀・治安のよさ」は、5.9ポイント増加している。
- ・「①まちの緑の豊かさ山並み」は、9.9ポイント、「⑧バスなどの公共交通機関の利便性」は、5.8ポイント、「⑦日常の買い物などの利便性」は、4.2ポイント減少している。

問5 地域活動の比較 地域の活動についての参加・協力の状況

